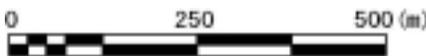
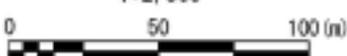
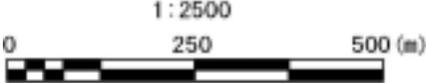
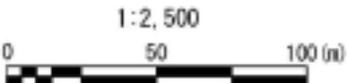


「2005年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査(モニタリング調査)報告書(平成15年度)」の訂正について

平成16年7月に公表しました「環境影響評価追跡調査(モニタリング調査)報告書(平成15年度)」の一部を、以下のとおり訂正します。

頁	訂正前	訂正後																		
14	(2)モニタリング調査結果 ア 気象 上之山町(環境)における・・・北西～北北西であり、平均風速は2月～4月がやや <u>大きい</u> が概ね2m/s前後であった。	(2)モニタリング調査結果 ア 気象 上之山町(環境)における・・・北西～北北西であり、平均風速は2月～4月がやや <u>強い</u> が概ね2m/s前後であった。																		
17	日射量、放射収支量の現地調査結果は・・・日射量は3月～9月に <u>大きく10月～2月に小さく</u> 、11月が最小となっていた。	日射量、放射収支量の現地調査結果は・・・日射量は3月～9月に <u>多く、10月～2月に少なく</u> 、11月が最小となっていた。																		
18	表1-1-6 大気汚染に係る環境基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th>物質名</th> <th>環境基準</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(SO₂)</td> <td>1時間・・・</td> <td>大気汚染に係る環境基準について(昭和48年5月 環境庁告示第25号)</td> </tr> <tr> <td>ベンゼン</td> <td>1年・・・</td> <td>ベンゼン等による大気・・・環境基準について(平成9年2月 環境庁告示第37号)</td> </tr> </tbody> </table>	物質名	環境基準	摘要	二酸化硫黄(SO ₂)	1時間・・・	大気汚染に係る環境基準について(昭和48年5月 環境庁告示第25号)	ベンゼン	1年・・・	ベンゼン等による大気・・・環境基準について(平成9年2月 環境庁告示第37号)	表1-1-6 大気汚染に係る環境基準 <table border="1"> <thead> <tr> <th>物質名</th> <th>環境基準</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化硫黄(SO₂)</td> <td>1時間・・・</td> <td>大気汚染に係る環境基準について(昭和48年5月 環境庁告示第35号)</td> </tr> <tr> <td>ベンゼン</td> <td>1年・・・</td> <td>ベンゼン等による大気・・・環境基準について(平成9年2月 環境庁告示第4号)</td> </tr> </tbody> </table>	物質名	環境基準	摘要	二酸化硫黄(SO ₂)	1時間・・・	大気汚染に係る環境基準について(昭和48年5月 環境庁告示第35号)	ベンゼン	1年・・・	ベンゼン等による大気・・・環境基準について(平成9年2月 環境庁告示第4号)
物質名	環境基準	摘要																		
二酸化硫黄(SO ₂)	1時間・・・	大気汚染に係る環境基準について(昭和48年5月 環境庁告示第25号)																		
ベンゼン	1年・・・	ベンゼン等による大気・・・環境基準について(平成9年2月 環境庁告示第37号)																		
物質名	環境基準	摘要																		
二酸化硫黄(SO ₂)	1時間・・・	大気汚染に係る環境基準について(昭和48年5月 環境庁告示第35号)																		
ベンゼン	1年・・・	ベンゼン等による大気・・・環境基準について(平成9年2月 環境庁告示第4号)																		

19	表 1 - 1 - 7 環境基準の評価方法		表 1 - 1 - 7 環境基準の評価方法			
	物質名	環境基準の評価方法	摘要	物質名	環境基準の評価方法	摘要
	二酸化硫黄 (SO ₂)	年間・・・	<u>大気汚染</u> に係る環境基準について (昭和48年6月 環大企第143号)	二酸化硫黄 (SO ₂)	年間・・・	<u>大気汚染</u> に係る環境基準について (昭和48年6月 環大企第143号)
	二酸化窒素 (NO ₂)	年間・・・	二酸化窒素に係る <u>環境基準</u> について (昭和53年7月 環大企第262号)	二酸化窒素 (NO ₂)	年間・・・	二酸化窒素に係る <u>環境基準の改訂</u> について (昭和53年7月 環大企第262号)
	一酸化炭素 (CO)	年間・・・	<u>大気汚染</u> に係る環境基準について (昭和48年6月 環大企第143号)	一酸化炭素 (CO)	年間・・・	<u>大気汚染</u> に係る環境基準について (昭和48年6月 環大企第143号)
	浮遊粒子状物質 (SPM)	年間・・・	<u>大気汚染</u> に係る環境基準について (昭和48年6月 環大企第143号)	浮遊粒子状物質 (SPM)	年間・・・	<u>大気汚染</u> に係る環境基準について (昭和48年6月 環大企第143号)
	ベンゼン	1年・・・	ベンゼン等による大気汚染に係る環境基準について (平成9年2月 環境庁告示第37号)	ベンゼン	1年・・・	ベンゼン、トリクロロエチレン及びテトラクロロエチレンによる大気汚染に係る環境基準について (平成9年2月 環大企第37号)
25	2 沿道環境 (1)調査概要 ア 調査地点 調査は・・・秋季調査地点の西に約260m、道路を挟んで・・・		2 沿道環境 (1)調査概要 ア 調査地点 調査は・・・秋季調査地点の西に約270m、道路を挟んで・・・			
12	図1-1-1(2)、(3)		図1-1-1(2)、(3)			
13	図1-1-8(2)～(5)の縮尺		図1-1-8(2)～(5)の縮尺			
27						
28	1:2500		1:2,500			
29	0 250 500 (m)		0 50 100 (m)			
30						

33	表 1 - 1 - 1 7 交通量調査結果 <table border="1" data-bbox="320 197 454 392"> <tr><td>曜日</td></tr> <tr><td>休日</td></tr> <tr><td>平日</td></tr> </table>	曜日	休日	平日	表 1 - 1 - 1 7 交通量調査結果 <table border="1" data-bbox="1279 197 1413 392"> <tr><td>区分</td></tr> <tr><td>休日</td></tr> <tr><td>平日</td></tr> </table>	区分	休日	平日
曜日								
休日								
平日								
区分								
休日								
平日								
34	(3)調査結果の検討 ア 過去の調査結果との比較 大気質及び気象に・・・測定地点を西側に約260m、道路を挟んで・・・	(3)調査結果の検討 ア 過去の調査結果との比較 大気質及び気象に・・・測定地点を西側に約270m、道路を挟んで・・・						
45	2 沿道環境 (1)調査概要 ア 調査地点 調査は・・・秋季調査地点の西約260mで道路を挟んで・・・	2 沿道環境 (1)調査概要 ア 調査地点 調査は・・・秋季調査地点の西約150mで道路を挟んで・・・						
41 42 47 48 49 50	図 1 - 2 - 1 (2)、(3) 図 1 - 2 - 3 (2) ~ (5) の縮尺 	図 1 - 2 - 1 (2)、(3) 図 1 - 2 - 3 (2) ~ (5) の縮尺 						
51	(2) モニタリング調査結果	(2) モニタリング調査結果						
55	イ 予測結果との比較 参考として、・・・と追跡調査(予測・評価)報告書(その1)(H15.3)又は追跡調査(予測・評価)報告書(その2)(H15.9)において行った環境影響・・・	イ 予測結果との比較 参考として、・・・と追跡調査(予測・評価)報告書(その2)(H15.9)において行った環境影響・・・						
62	イ 予測結果との比較 参考として、・・・と追跡調査(予測・評価)報告書(その1)(H15.3)又は追跡調査(予測・評価)報告書(その2)(H15.9)において行った環境影響・・・	イ 予測結果との比較 参考として、・・・と追跡調査(予測・評価)報告書(その2)(H15.9)において行った環境影響・・・						

66	表1-4-4 生活環境項目及びその他の項目調査結果 <table border="1" data-bbox="320 199 490 355"> <tr> <td>n-ヘキサン 抽出物質</td> </tr> <tr> <td><u>Mg/l</u></td> </tr> </table>	n-ヘキサン 抽出物質	<u>Mg/l</u>	表1-4-4 生活環境項目及びその他の項目調査結果 <table border="1" data-bbox="1274 199 1444 355"> <tr> <td>n-ヘキサン 抽出物質</td> </tr> <tr> <td><u>mg/l</u></td> </tr> </table>	n-ヘキサン 抽出物質	<u>mg/l</u>						
n-ヘキサン 抽出物質												
<u>Mg/l</u>												
n-ヘキサン 抽出物質												
<u>mg/l</u>												
83	(3)調査結果の検討 上記の地下水質調査地点・・・塩素イオン、 <u>カルシウム・マグネシウム</u> <u>(過マンガン酸カリウム消費量)</u> の過去の・・・	(3)調査結果の検討 上記の地下水質調査地点・・・塩素イオン、 <u>カルシウム・マグネシウム</u> <u>等(硬度)、蒸発残留物、有機物等(過マンガン酸カリウム消費量)</u> の過去の・・・										
104	表2-1-4 生育調査の測定項目及び測定方法 <table border="1" data-bbox="221 652 1144 839"> <tr> <th>測定項目</th> <th>測定方法等</th> </tr> <tr> <td>個体数</td> <td>・・・した。幹長が<u>1.2m以下</u>のものは、「幼木」として 区別してカウントした。</td> </tr> </table>	測定項目	測定方法等	個体数	・・・した。幹長が <u>1.2m以下</u> のものは、「幼木」として 区別してカウントした。	表2-1-4 生育調査の測定項目及び測定方法 <table border="1" data-bbox="1176 652 2098 839"> <tr> <th>測定項目</th> <th>測定方法等</th> </tr> <tr> <td>個体数</td> <td>・・・した。幹長が<u>1.2m未満</u>のものは、「幼木」として 区別してカウントした。</td> </tr> </table>	測定項目	測定方法等	個体数	・・・した。幹長が <u>1.2m未満</u> のものは、「幼木」として 区別してカウントした。		
測定項目	測定方法等											
個体数	・・・した。幹長が <u>1.2m以下</u> のものは、「幼木」として 区別してカウントした。											
測定項目	測定方法等											
個体数	・・・した。幹長が <u>1.2m未満</u> のものは、「幼木」として 区別してカウントした。											
109	表2-1-8 シデコブシ調査結果の比較(C、 Eの表) <table border="1" data-bbox="320 903 591 1139"> <tr> <td>総個体数</td> </tr> <tr> <td>調査対象個体数^{*2}</td> </tr> <tr> <td>幹数^{*1}</td> </tr> <tr> <td>幼木数^{*2}</td> </tr> <tr> <td>総合活力度^{*3}</td> </tr> </table>	総個体数	調査対象個体数 ^{*2}	幹数 ^{*1}	幼木数 ^{*2}	総合活力度 ^{*3}	表2-1-8 シデコブシ調査結果の比較(C、 Eの表) <table border="1" data-bbox="1274 903 1545 1139"> <tr> <td>総個体数</td> </tr> <tr> <td>調査対象個体数^{*2}</td> </tr> <tr> <td>幹数^{*3}</td> </tr> <tr> <td>幼木数^{*4}</td> </tr> <tr> <td>総合活力度^{*5}</td> </tr> </table>	総個体数	調査対象個体数 ^{*2}	幹数 ^{*3}	幼木数 ^{*4}	総合活力度 ^{*5}
総個体数												
調査対象個体数 ^{*2}												
幹数 ^{*1}												
幼木数 ^{*2}												
総合活力度 ^{*3}												
総個体数												
調査対象個体数 ^{*2}												
幹数 ^{*3}												
幼木数 ^{*4}												
総合活力度 ^{*5}												
109	表2-1-8 注1) *4 : 幹長が <u>1.2m以下</u> の個体の数。	表2-1-8 注1) *4 : 幹長が <u>1.2m未満</u> の個体の数。										
114	イ 調査期間 平成15年4月1～4日、 <u>平成15年5月3日</u> 、平成15年5月7～8日、 平成15年5月20日、平成15年6月17日、平成15年6月19～20日、 平成15年7月22日、平成15年7月25日、平成15年8月20～21日、	イ 調査期間 平成15年4月1～4日、平成15年5月7～8日、平成15年5月20日、 平成15年6月17日、平成15年6月19～20日、平成15年7月22日、 平成15年7月25日、平成15年8月20～21日、平成15年9月10～11日、										

	平成15年9月10～11日、平成15年10月27日、平成15年10月31日、平成15年11月4日、平成15年11月6～7日、平成15年11月12～21日、平成15年11月26～27日、 <u>平成15年12月10日</u> 、平成16年1月16日、平成16年2月24～25日、平成16年3月17～18日	平成15年10月27日、平成15年10月31日、平成15年11月4日、平成15年11月6～7日、平成15年11月12～21日、平成15年11月26～27日、 <u>平成15年12月9～13日</u> 、 <u>平成15年12月18日</u> 、 <u>平成15年12月24～25日</u> 、平成16年1月16日、平成16年2月24～25日、平成16年3月17～18日
181	表3-1-3 ヒメコヌカグサの確認総数の内H15年度の値 95 タチモの増減数(H14年度比)の内総数比の値 -2.49	表3-1-3 ヒメコヌカグサの確認総数の内H15年度の値 95 株 タチモの増減数(H14年度比)の内総数比の値 -2.49 m ²
211	(2)モニタリング調査結果 ア 調査結果 (ア)注目すべき魚類の生息調査 カワバタモロコは・・・多数確認された。一方で、めだか池とかきつばた池での確認は少なかった。	(2)モニタリング調査結果 ア 調査結果 (ア) 注目すべき魚類の生息調査 カワバタモロコは・・・多数確認された。一方で、めだか池とかきつばた池での確認は少なかった。 <u>なお、注目すべき魚類ではないが、注目すべき魚類の生息調査においてのみ確認された種として、かきつばた池のゲンゴロウブナ、かめの池のタモロコ、コイ、めだか池上流水路のギンブナが確認された。</u>
214 215	表3-2-9(1) 表3-2-9(2) 「確認種数」の行の「種」の列の値 <u>11</u>	表3-2-9(1) 表3-2-9(2) 「確認種数」の行の「種」の列の値 <u>12</u>

231	<p>第4章 会場間ゴンドラ設置 第1節 植物 1 注目すべき植物種 (1)調査概要 ア 調査項目 (イ)ウンヌケの生育地における帰化植物の侵入状況 ウンヌケの生育地に対する帰化植物の侵入状況を把握するため、・・・ イ 調査期間 (イ)ウンヌケの生育地における帰化植物の侵入状況</p>	<p>第4章 会場間ゴンドラ設置 第1節 植物 1 注目すべき植物種 (1)調査概要 ア 調査項目 (イ)ウンヌケの生育地における帰化植物等の侵入状況 ウンヌケの生育地に対する帰化植物等の侵入状況を把握するため、・・・ イ 調査期間 (イ)ウンヌケの生育地における帰化植物等の侵入状況</p>
238	<p>イ 比較(本文中4行目) 帰化植物については・・・</p>	<p>イ 比較(本文中4行目) 帰化植物等については・・・</p>

「2005年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査(予測・評価)報告書(その4)」の訂正について

平成16年7月に公表しました「環境影響評価追跡調査(予測・評価)報告書(その4)」の一部を、以下のとおり訂正します。

頁	訂正前	訂正後																				
92	表3.2-1-4 ターミナル内のバス台数 <table border="1"> <tr><td>会場間シャトル</td></tr> <tr><td>バス乗降場</td></tr> <tr><td>-</td></tr> <tr><td>-</td></tr> <tr><td>110</td></tr> <tr><td>-</td></tr> </table>	会場間シャトル	バス乗降場	-	-	110	-	表3.2-1-4 ターミナル内のバス台数 <table border="1"> <tr><td>会場間シャトル</td></tr> <tr><td>バス乗降場</td></tr> <tr><td>-</td></tr> <tr><td>-</td></tr> <tr><td>110</td></tr> <tr><td>-</td></tr> </table>	会場間シャトル	バス乗降場	-	-	110	-								
会場間シャトル																						
バス乗降場																						
-																						
-																						
110																						
-																						
会場間シャトル																						
バス乗降場																						
-																						
-																						
110																						
-																						
106	3. 調査方法 調査は、「水質汚濁に係る環境基準について」・・・に基づいて行った。 (章末資料3.2-3-1参照)	3. 調査方法 調査は、「水質汚濁に係る環境基準について」・・・に基づいて行った。 (水質分析方法は、章末資料3.2-3-1参照)																				
119	1. 環境の保全について 夜間催事実施時の照明及び催事以外の・・・回避又は低減を図るため、以下の環境保全措置を実施することとして、その徹底を図る。	1. 環境の保全について 夜間催事実施時の照明及び催事以外の・・・回避又は低減を図るため、以下の環境保全措置を実施することとして、その徹底を図る。																				
128	表3.2-5-4 各池で確認された主な生成植物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>形態</th> <th>種名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沈水植物</td> <td>タチモ、イトモ</td> </tr> <tr> <td>浮遊植物</td> <td>イヌタヌキモ、ノタヌキモ</td> </tr> <tr> <td>浮葉植物</td> <td>ヒシ、ジュンサイ、ホソバノミズヒキモ</td> </tr> <tr> <td>抽水植物</td> <td>ヨシ、ツルヨシ、カンガレイ、クログワイ、<u>スイレン</u></td> </tr> </tbody> </table>	形態	種名	沈水植物	タチモ、イトモ	浮遊植物	イヌタヌキモ、ノタヌキモ	浮葉植物	ヒシ、ジュンサイ、ホソバノミズヒキモ	抽水植物	ヨシ、ツルヨシ、カンガレイ、クログワイ、 <u>スイレン</u>	表3.2-5-4 各池で確認された主な生成植物 <table border="1"> <thead> <tr> <th>形態</th> <th>種名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沈水植物</td> <td>タチモ、イトモ</td> </tr> <tr> <td>浮遊植物</td> <td>イヌタヌキモ、ノタヌキモ</td> </tr> <tr> <td>浮葉植物</td> <td>ヒシ、ジュンサイ、ホソバノミズヒキモ、<u>スイレン</u></td> </tr> <tr> <td>抽水植物</td> <td>ヨシ、ツルヨシ、カンガレイ、クログワイ</td> </tr> </tbody> </table>	形態	種名	沈水植物	タチモ、イトモ	浮遊植物	イヌタヌキモ、ノタヌキモ	浮葉植物	ヒシ、ジュンサイ、ホソバノミズヒキモ、 <u>スイレン</u>	抽水植物	ヨシ、ツルヨシ、カンガレイ、クログワイ
形態	種名																					
沈水植物	タチモ、イトモ																					
浮遊植物	イヌタヌキモ、ノタヌキモ																					
浮葉植物	ヒシ、ジュンサイ、ホソバノミズヒキモ																					
抽水植物	ヨシ、ツルヨシ、カンガレイ、クログワイ、 <u>スイレン</u>																					
形態	種名																					
沈水植物	タチモ、イトモ																					
浮遊植物	イヌタヌキモ、ノタヌキモ																					
浮葉植物	ヒシ、ジュンサイ、ホソバノミズヒキモ、 <u>スイレン</u>																					
抽水植物	ヨシ、ツルヨシ、カンガレイ、クログワイ																					

147	<p>エ 溶存イオンの存在状況</p> <p>もう一つの特徴として、非常に鉄、マンガンの値が高いことがあげられる。鉄濃度の日本の河川の平均値が0.24mg/l、<u>マンガン濃度の</u>中部の河川の平均値0.14mg/lの値から見て、・・・、めだか池がこれに続く。</p>	<p>エ 溶存イオンの存在状況</p> <p>もう一つの特徴として、非常に鉄、マンガンの値が高いことがあげられる。鉄濃度の日本の河川の平均値が0.24mg/l、中部の河川の平均値0.14mg/lの値から見て、・・・、めだか池がこれに続く。</p>
169	<p>イ 水生植物群の分布と生育環境との関係</p> <p>したがって、この春から夏にかけての水温成層が形成されなくなれば、<u>底層</u>、底泥からの有機物や栄養分、・・・可能性が考えられる。</p>	<p>イ 水生植物群の分布と生育環境との関係</p> <p>したがって、この春から夏にかけての水温成層が形成されなくなれば、<u>底層</u>、底泥からの有機物や栄養分、・・・可能性が考えられる。</p>
175	<p>フェンスはこいの池北側の池岸に近い地点に位置するため、水生植物群の生育域に設置することとなる。</p> <p>表3.2-5-15にこれら仮設工作物が水生植物群の分布域に占める面積とその割合を示した。仮設工作物の設置面積は、各水生植物群の生育域の約<u>1～9%</u>に相当し、水生植物群全体の約<u>1.5%</u>を占めると予測された。また、これら仮設工作物は、開放水面の約<u>2.0%</u>を占めるものと予測された。</p>	<p>フェンスはこいの池北側の池岸に近い地点に位置するため、水生植物群の生育域に設置することとなる。</p> <p>表3.2-5-15にこれら仮設工作物が水生植物群の分布域に占める面積とその割合を示した。仮設工作物の設置面積は、各水生植物群の生育域の約<u>1～6%</u>に相当し、水生植物群全体の約<u>1.8%</u>を占めると予測された。また、これら仮設工作物は、開放水面の約<u>3.3%</u>を占めるものと予測された。</p>

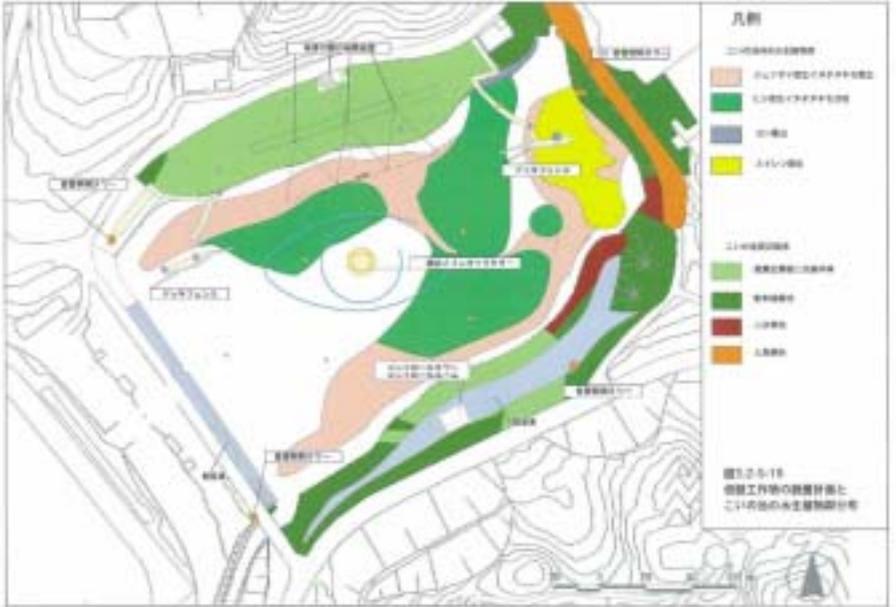
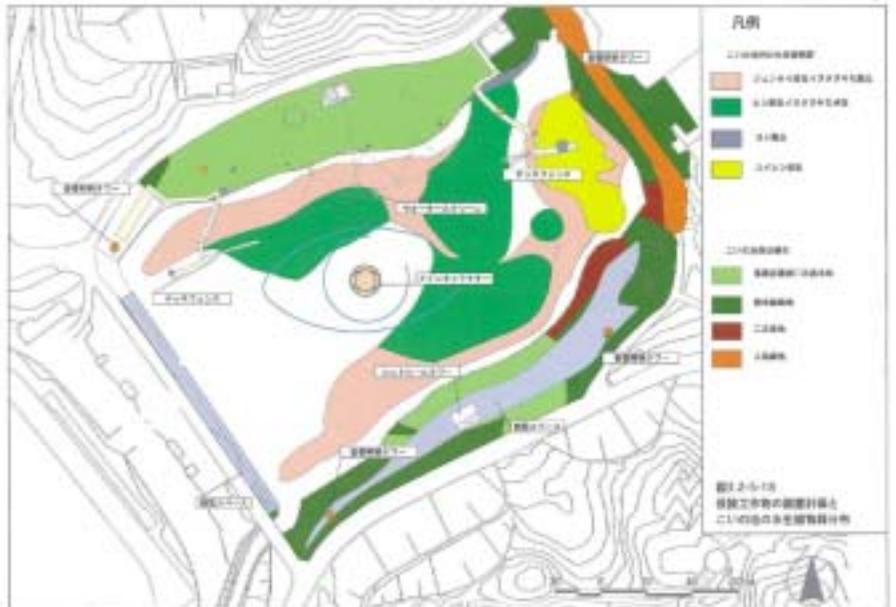
175

表3.2-5-15 仮設工作物が水生植物群の分布域に占める面積とその割合

水生植物群タイプ	水生植物群の分布面積(m ²)	仮設工作物の水面利用面積(m ²)	水生植物群生育面積に対する仮設工作物の占める割合(%)
ジュンサイ密生 イヌタヌキモ散生	5,038	<u>74</u>	<u>1.5</u>
スイレン密生	1,391	<u>60</u>	<u>4.3</u>
ヒシ密生 イヌタヌキモ点在	6,205	<u>47</u>	<u>0.8</u>
ヨシ優占	159	<u>14</u>	<u>8.8</u>
植生分布合計	12,793	<u>195</u>	<u>1.5</u>
開放水域	<u>20,548</u>	<u>411</u>	<u>2.0</u>

表3.2-5-15 仮設工作物が水生植物群の分布域に占める面積とその割合

水生植物群タイプ	水生植物群の分布面積(m ²)	仮設工作物の水面利用面積(m ²)	水生植物群生育面積に対する仮設工作物の占める割合(%)
ジュンサイ密生 イヌタヌキモ散生	5,038	<u>71</u>	<u>1.4</u>
スイレン密生	1,391	<u>75</u>	<u>5.4</u>
ヒシ密生 イヌタヌキモ点在	6,205	<u>73</u>	<u>1.2</u>
ヨシ優占	159	<u>5</u>	<u>3.1</u>
植生分布合計	12,793	<u>224</u>	<u>1.8</u>
開放水域	<u>11,497</u>	<u>384</u>	<u>3.3</u>

176		
177	<p>(2) こいの池内への仮設工作物の出現 回避又は低減のための方針に掲げている環境保全措置の徹底を図ることにより、・・・、仮設工作物が占める面積は水生植物群全体の約<u>1.5%</u>、開放水面の約<u>2.0%</u>と小さく、また仮設工作物には・・・。</p>	<p>(2) こいの池内への仮設工作物の出現 回避又は低減のための方針に掲げている環境保全措置の徹底を図ることにより、・・・、仮設工作物が占める面積は水生植物群全体の約 <u>1.8%</u>、開放水面の約 <u>3.3%</u>と小さく、また仮設工作物には・・・。</p>
180	<p>(3) 演出用ボートの水面の移動 こいの池の催事では、・・・、ジュンサイ密生イヌタヌキモタイプ内が約 <u>100m</u>、ヒシ密生イヌタヌキモタイプ内が約 <u>144m</u>、スイレン密生タイプ内が約 <u>108m</u>と予測された。</p>	<p>(3) 演出用ボートの水面の移動 こいの池の催事では、・・・、ジュンサイ密生イヌタヌキモタイプ内が約 <u>95m</u>、ヒシ密生イヌタヌキモタイプ内が約 <u>117m</u>、スイレン密生タイプ内が約 <u>118m</u>と予測された。</p>

182

